



【 6年間お世話になった学校での宿泊 】

- 11月13日（土）～14日（日）、6年生が学校で宿泊をしました。私は、子供たちの感想を詳しく聞く場がなかったのですが、朝、校庭に立っているとき、多くの子供が「校長先生、ありがとうございました。」と感謝の意を伝えてくれたり、「校内探検が楽しかったです。」「ジェスチャーゲームが楽しかったです。」と言ったりしていました。その表情や言葉から、本当に楽しく思い出に残ったのだなと感じました。
- 例年は、夏に八日町通りで行われる「氷の彫刻」という町のイベントに参加していたのですが、コロナ過で子供たちが密になると危険なので、今年も6年生は参加することができませんでした。そこで、学年委員の方が、「なんとか小学校での思い出をつくってやりたい。」という願いの下、学校での宿泊学習を企画されました。本当は、8月に実施する予定でしたが、ステージ3に移行するときであり、延期となったのです。
- 私は、1学期から安全対策やコロナ対策が確実に行われる条件の下、子供たちや保護者の方々が本当に学校での宿泊をやりたいという願いが強いのなら、大賛成でした。実は、私が教職2年目のとき、当時の勤務校で学級の子供たちと宿泊をした経験があります。校内肝試しやバーベキュー等をして宿泊をしました。私が中心となって保護者の方に協力もいただいて実施し、子供たちにとって本当に思い出深いものになったと思っています。実施に反対の意見もありましたが、子供・保護者・担任の3者がやりたいという強い願いがあったので、当時の校長先生も了承されたのでしょう。私は、**当時の校長先生に感謝**しています。

- 私にはこの経験があるからこそ、今回の宿泊について、子供・保護者・担任の強い意を汲み、学校長として了承しました。私にとって、一つの「**恩送り**」です。学級役員をはじめ、保護者の方々、子供たちのためにありがとうございました。

